

令和4年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立東糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・第4学年は、観点別正答率において、全ての観点で全国平均を上回る結果となった。
- ・第4学年は、観点別に見ると、特に「主体的に取り組む態度」の数値が高く、ICTを活用して、学習に対する興味・関心を高める学習活動を行ったことが成果となって表れた。
- ・第4学年は、領域別に見ると、特に「書くこと」の数値が高く、日記をつけるなど、書くことを日常的に行ったことが成果となって表れた。
- ・第5学年は、「我が国の言語文化に関する事項」が目標値や昨年度の校内平均よりも高い結果となった。俳句の暗唱や百人一首に取り組んだことや、ことわざや慣用句等の図書を図書室や教室に置いたことで、児童が興味関心をもって学習することにつながった。

(2) 課題

- ・第5学年は、領域別に見ると、特に「読むこと」の数値が低い。
- ・第5学年・第6学年共に、領域別に見ると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の数値が低い。
- ・第6学年は、観点別に見ると、特に「知識・技能」の数値が低い。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和4年度結果	令和3年度結果	令和2年度結果
第4学年	目標値に対して△	/	/
第5学年	目標値に対して▼	目標値に対して▼ (第4学年時)	/
第6学年	目標値に対して▼	目標値に対して▼ (第5学年時)	目標値に対して▼ (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言語についての知識・理解及び漢字の読み書きは目標値に対して概ね満足できる。	文章を読むこと、文章を書くことについては目標値を大きく上回った。	国語への関心・意欲・態度は目標値を大きく上回った。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言語についての知識・理解及び漢字の読み書きは目標値を下回った。	文章を書くことにおいて、目標値を下回った。	国語への関心・意欲・態度は目標値を下回った。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 平仮名や片仮名では、促音・長音・拗音などの基礎的な表記の決まりを身に付けさせる。 行事や学習活動に合わせた作文指導を取り入れ、目的を明確にして継続的に書く活動を行う。 詩の暗唱や言葉遊びなどを通して、語彙を増やす活動に取り組む。 既習の漢字を文章の中で使う習慣を付ける。 同一の意味を様々な言葉で表現する活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアやグループでの発表や話し合いの場を多く作り、話す・聞くの習慣化を図る。 経験したことや想像したことを「初め・中・終わり」の構成を考えて書く活動を定期的に取り入れる。 具体物を見せたりデジタル教科書を活用したりして、語彙の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書の継続や週1回の図書時間の確保、専門員やボランティアによる読み聞かせを通して、本に親しむ機会を増やす。 詩の暗唱や言葉遊びなどを通して、語彙を増やすと共に、言葉への興味・関心を高める。 ICTを活用して、興味・関心を高める学習活動を行う。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ローマ字は、ローマ字の指導配当時間以外にも、タイピングの練習をするなど、定期的に繰り返し学習する機会を作る。 主語と述語は小単元の学習以外でも作文などの中で継続的に繰り返し指導する。 既習の漢字を文章の中で使う習慣を付ける。 同一の意味を様々な言葉で表現する活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアやグループなどで話し合う時間を作る。友達と意見を交流することで、話の中心に気を付けて聞いて、質問したり感想を述べたりする力を付ける。 作文を書く活動に継続して取り組む。自分の考えが明確になるよう理由や例を挙げたり、段落の構成に注意したりして書くよう指導する。 段落相互の関係を表にしたり、考えとそれを支える理由や事例との関係を捉えたりしながら読む力を付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書の継続や週1回の図書時間の確保、専門員による読み聞かせ、ブックトーク等を通して、本に親しむ機会を増やす。 俳句の暗唱や百人一首などを通して、言葉への興味・関心を高める。 ICTを活用して、興味・関心を高める学習活動を行う。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・主語、述語、修飾語、敬語など、小単元の学習以外でも読むことや作文などの中で継続的に繰り返し指導する。・既習の漢字を文章の中で使う習慣を付ける。・同一の意味を様々な言葉で表現する活動を行う。	<ul style="list-style-type: none">・ペアやグループで話し合う時間を作り、話し合ったことをまとめたり、グループの意見を全体に伝えたりする活動を日常的に行う。・自分の考え、事実、説明などを書く活動を、国語をはじめ他教科でも取り入れる。その際、指定された文字数で書いたり、段落構成を考えて書いたりする経験を増やす。・文章の内容の要旨を捉えたり、事実と意見などの関係をおさえ、自分の考えを明確にしながら読んだりする活動に取り組む。	<ul style="list-style-type: none">・朝読書の継続や週1回の図書時間の時間、専門員による読み聞かせ、ブックトーク等を通して、本に親しむ機会を増やす。・俳句や短歌の暗唱、百人一首などを通して、言葉への興味・関心を高める。・ICTを活用して、興味・関心を高める学習活動を行う。